



今、私たちに何ができるのか？ 「今日からはじめる省エネ生活」

第40回ボランティア研修会

七月十日(日)十時から北九州パレスにて第四十回ボランティア研修会が開催され、事務局を含め、二十五名が参加しました。
今回は、九州電力株式会社八幡営業所計画グループ副長の久末庄一郎氏と同じく満江真順氏に「身近な省エネ対策について」と題して講演をしていただきました。

初めに、山田理事長が、「十三年前に『さわやか』が設立されて以来、第四十回目の研修会となりました。皆様のおかげで、長く続けさせていただいていることに感謝申し上げます。今回は、ちようど四ヶ月前に東日本大震災が発生し、とても大きな被害ができました。まだまだ復旧には時間がかかるようです。



久末庄一郎氏

そこで、今私たちに何ができるのか？と考えた時に『節電』もその中のひとつではないかと思ひ、「さわやか」の研修会で『節電』や『省

エネ』についてのお話をしていたらどう思いました。九州電力株式会社八幡営業所に講演のお願いに伺ったところ、休日にもかかわらず快くお受けしていただきました。今日のテーマでもある「身近な省エネについて」お話を伺いして皆様のお役に立てていただきたいと思います。

省エネに對してどのような

取り組みと効果があるのか

- 例えば、エアコンでは次の三つのことを実行すること
で省エネの効果が上がります。
 - ・夏の冷房設定温度を
二七℃→二八℃に
 - ・冬の暖房設定温度を
二二℃→二〇℃に
 - ・冷暖房の運転時間を
一日1時間ずつ短縮
- それによって日本の全体で、消費電力が約200億キロ

思います。」と挨拶がありました。引き続き講演にはいりました。

なぜ省エネが必要か

世界のエネルギー消費は増え続けています、主な原因は中国、インド、などアジアを中心として経済が発展してエネルギーを多く使うようになってきていることです。世界のエネルギー供給可能量(可採年数)はこの消費ペースで行くと、石油はあと四十二年、天然ガスは六十年しか見込まれていません。資源には限りがあります。特に一番多く使われている石油についてはアジアを中心とする使用量が大きく増えているので足りなくなる事が心配されています。

地球環境問題への対応

二〇〇五年二月に京都議定書が発効されています。内容は、一九九九年、日本の二酸化炭素の排出量で、二〇一〇年〜二〇一五年の間で六%減らしていこうという事を決めています。現在、外国の二酸化炭素の排出量を日本の技術などで穴埋めをしている状況です。今のところ六%達成とはいかないけれどそれに近い状況にあります。

地球温暖化とは

温暖化の原因は二酸化炭素が出る事によって、温室効果ガスが増えます。石油や石炭を燃やすことによつて大気中に二酸化炭素が増えて、地球が宇宙に放出するはずの熱が大気中に閉じ込められ、温室効果が進み地球温暖化となっています。世界の平均気温は年々高くなっています。

私たちの生活にも

重大な影響

このまま地球温暖化が進むと、大雨などの異常気象が増加し熱帯の病気が広がるなど、環境に重大な影響をおよぼす心配があります。大気中の二酸化炭素と海

事務局より

お盆休みのお知らせ

8月13日(土)より
8月16日(火)まで

事務局は

お休みします。



の中の二酸化炭素では海のほうに六〇倍二酸化炭素があります。地球温暖化は日に加速しています。地球温暖化にストップをかけるためには、一人ひとりが省エネを行うことが大切です。一人では、省エネ効果が少ないように思えますが、日本中で実行すれば大きな成果が得られます。

家庭の省エネルギー

消費の実態

家庭の省エネを進めるためには、まず、家庭のエネルギー使用の実態を知る事が大切です。

家庭の消費電力が一番大きいのはエアコンです。それから、冷蔵庫、照明、テレビの順になっています。この四つで家庭の電力消費の約七割を占めています。(裏面につづく)

今回、ボランティア研修会に参加されたボランティアさん二名の方に感想文を頂きました。

何故省エネが必要なのか

八幡事業所ボランティア 安部昌子

第40回ボランティア研修会の「省エネ」というタイトルに大変興味をもち、率先して参加させて頂きました。九電の方の、何故省エネが必要なのか、から始まり家庭の省エネルギー消費の実態、並びに家電製品の使い方、消費電力の節約、年間の電気料の節約出来るという事細かい説明にうなづくことばかりでした。新聞・テレビなどで時々目にしてきたもの、実際確実な数値でみると山のよう

な反省点がでてきました。今現在まだまだ言葉ではいけない位、大変な思いをされている東北の現状を知り、一人ひとりの小さな協力は、わずかでもお手伝いしなければという気持ちでいっぱいです。そして、最後に質疑応答の時の積極的な皆さんの質問に省エネに対する取り組みの真剣さに驚きと共に有意義な2時間、アツという間でした。



使い方のちょっとした工夫

小倉事業所ボランティア 磯田てるみ

7月10日(日)北九州パレスで九州電力八幡営業所の方による「省エネ講座」を30名程のボランティアさん達と受講しました。3・11の東日本大地震以来毎日のように省エネの情報

がテレビ等で報道されています。とても関心のある内容で皆さん熱心に聞いておられました。エアコン、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、洗濯機、テレビなど使い方をちょっと工夫するだけで省エネになることも学べました。我が家でも太陽光発電やLED電球、



待機時消費電力

(前面よりつづき)

消費電力量の大きい機器の対策と並んで重要なのが、機器を使用していないのに



真剣に聞いているボランティアさん達

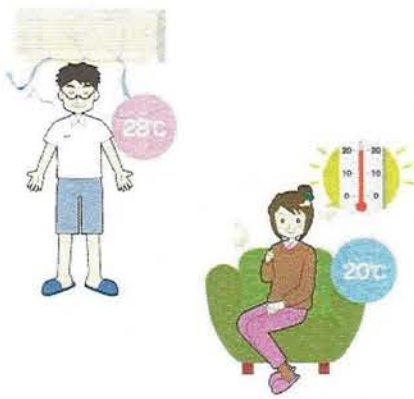
消費される待機時消費電力です。家庭で消費する電力量のうち年間約六%が待機時消費電力です。これは一家庭におけるテレビの消費電力量に近く無視できない大きさとなっています。

ライフスタイルで

省エネ

省エネを進めるためにはライフスタイルを見直して省エネ生活を実践することが大切です。

夏の「軽装」冬の「重ね着」によって快適性を犠牲にす



ることなく、冷房、暖房の温度設定を適正にする事ができます。

最後に、久末氏は「このようにいろいろな形で省エネの仕方があります。限

りある資源を大切にしたい。日からはじめる省エネ生活を頑張ってください」と話されました。続いて質疑応答と「省エネ」のDVD鑑賞をしました。その後、梶原常務理事より、小倉事業所の省エネの取り組みについて話がありました。最後に、理事長より「次の九州電力の八丁原地熱発電所の見学を計画しています」と話がありました。

研究会は、十一時五十分閉会しました。

省エネQ&A

Q、丸い蛍光灯にはLEDはありますか？

A、今の所ありません、今後丸い形のLEDが出てくると思います。

Q、今までの領収書をきちんと見ていなかったけれど、資料を見ていたら太陽光発電促進付加金とありますが、それはどういうものですか？

A、太陽光自然エネルギーを促進していくための料金です、これは国が取り扱っている政策です。



分電盤



白熱球とLED電球



熱いかな？